

講演抄録（鈴木博昭講師）

演題「高齢者介護の現場における口腔の現状とケア」

特定非営利活動法人ぎふ村  
鈴木博昭（介護福祉士）

少子高齢化が進むとともに、超高齢社会に突入した現状のなかで、歯科修復においても高齢者の占める割合は増加しています。高齢者の生活は在宅と施設に二分化されていますが、高齢者介護の現場に関わる立場から、こうした高齢者の生活の場に於いての口腔内環境と、その修復の現状を報告します。また、口腔環境の改善の障壁が何かも検証し実態の報告と、環境の悪化が高齢者の身体にどのように影響するか高齢者の身体特徴から検証します、

そして、これからの、介護マネジメントにおける口腔ケアの位置づけと、そのアセスメントから課題解決に繋げるために、歯科補綴のスペシャリストとの連携の可能性を探ります。

講演抄録（鷺見秀文講師）

演題 スプリントデンチャーの臨床応用

演者 鷺見秀文（福井歯科医院勤務）※岐阜県歯科技工士会会員

熱可塑性の歯科用成型シート材料は、一般的にマウスガードや咬合スプリント・矯正用のスプリントなどに使用されていて、各社が多くの種類を製造している。

マウスガードやナイトガード等の製作は、工程も少なく比較的短時間で可能である。

今回は、成型されたハードタイプのシート上に人工歯を配列したスプリントデンチャーについて、その製作方法と臨床応用についてご紹介する。

スプリントデンチャーは、災害時用などにも活用が期待されるが、当医院では主に一時的な咬合回復と、その後の治療用テンポラリーデンチャーとして使用している。

勤務者の方はもちろん、技工所開設の方にも取引先医院等への治療用ツールとして活用していただければ幸いです。